

2015 年度 E.FORUM 教育研究セミナー 「高等学校における探究の評価」: 実施の様子

2015年8月1日(土)、京都大学大学院人間・環境学研究科大講義室にてE.FORUM教育研究セミナー「高等学校における探究の評価」を開催しました。高等学校の教職員および教育委員会関係者等を対象に、北は北海道から南は福岡県まで、総勢 140 名の方にご参加いただきました。参加者の皆さまには、同日午前中に開催した「高校生と大学生の探究成果ポスター発表会」(京都大学 COC 事業「COCOLO 域」と共催)に引き続いてご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

● オープニング

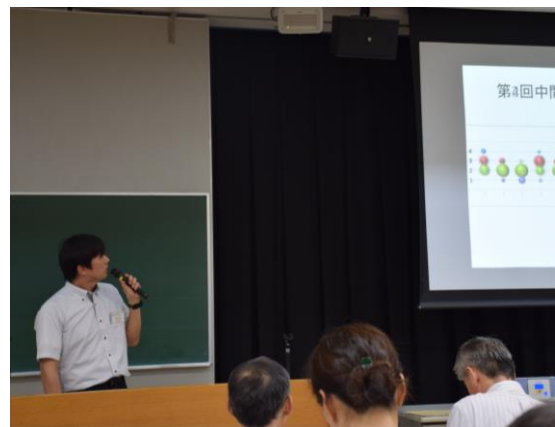
はじめに、司会の西岡加名恵准教授より本セミナーの概要説明がありました。



● シンポジウム

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) やスーパーグローバルハイスクール (SGH) として実績のある高等学校から、高松第一高等学校の佐藤哲也教諭と京都市立堀川高等学校の村井昂介教諭にお越しいただき、実践のご報告をいただきました。また、教育学研究科大学院生の大貫守さんと福嶋祐貴さんから、学校現場との共同研究の成果を踏まえて作成された、探究を評価するためのルーブリックが紹介されました。

◆ 「生徒の自主性・自発性を高める課題研究の指導とその評価」 佐藤 哲也 氏 (高松第一高等学校・SSH 研究開発主任)



◆ 「多様な角度から問いを深める人文・社会科学系ゼミの指導と評価」
 村井 昂介 氏（京都市立堀川高等学校・教諭）



◆ 「高校生の探究を評価するルーブリックの検討」
 大貫 守 氏・福嶋 祐貴 氏（京都大学大学院教育学研究科・大学院生）



◆ 全体討論

シンポジウム後半は、西岡加名恵准教授と石井英真准教授の進行のもと、登壇者とフロアの参加者を交えて、活発な議論が行われました。



● クロージング

最後に、西岡准教授と石井准教授より本日のセミナーの総括がありました。



※ E.FORUM 教育研究セミナーは、京都大学のオープンコースウェア(OCW)としてインターネット上でも内容を公開しています。

- ◆ 第 1 部「高校生と大学生の探究成果ポスター発表会」(2015 年 8 月 1 日)※京都大学 COCOLO 域との共催
OCW: <http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/opencourse/112>
- ◆ 第 2 部「高等学校における探究の評価」(2015 年 8 月 1 日)
OCW: <http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/opencourse/113>